

長崎県五島市沖における協議会
環境配慮事項への対応状況

2023年 12月 15日

五島フローティングウィンドファーム合同会社

アジェンダ

- (1) 地域や漁業との共存及び環境影響等の調査について
- (2) 漁業影響調査について
- (3) 工事中調査について

環境配慮事項への対応状況

(1) 地域や漁業との共存及び環境影響等の調査について

1) 地元との連携

- ・五島市が事務局である「五島市ゼロカーボンシティ実現協議会（令和5年3月設立）」に参加し、同協議会の再生可能エネルギー推進部会において、漁業影響調査や海域利用の運用ルールなどについて意見をいただきながら、本事業を進めていく。
- ・陸上ヤードにおけるPC部不具合に伴う工事工程の遅延により、運転開始時期が延期となり、地元漁協や促進区域や椏島海域近傍に関わる漁業者などに説明会を実施した。

2) 漁業振興策

- ・地域や漁業との協調・共生のための基金への寄付について五島市と協議を実施し、五島市が準備を進めている基金及び条例のスケジュールに合わせ協力する。

3) 漁業影響調査

- ・昨年8月の第4回協議会以降、各漁協と「漁獲量動向調査」の具体的な手法について協議を実施した。提案した実施方法について、長所短所の指導をいただきながら、「試験操業」の実施方法を設定した。

4) 環境影響評価手続き（工事中調査）

- ・本事業では、環境影響評価法その他関係法令に基づく発電事業に係る環境影響評価手続きを2016年～2018年に実施済である。その際に策定した通り、工事中の環境影響把握のため、騒音・濁水・鳥類及び魚類への影響等の環境調査を実施している。

環境配慮事項への対応状況

環境調査の概要

	主な調査項目	事前調査 (実施済)	工事中	運転開始後 環境調査
環境 アセスメント	騒音・超低周波音			
	水の濁り	—		—
	鳥類 コウモリ類			
	海棲哺乳類、魚類等（水産生物）			
	藻場、サンゴ群集		—	
漁業 影響調査	試験操業		○	○
	漁業者ヒアリング		○	○
	-1 データの収集整理（各種統計）	○	○	
	-2 データの収集整理（漁協提供）	—	○	○

事前調査においても同様な調査を実施

環境配慮事項への対応状況

(2) 漁業影響調査について

1) 漁業影響調査の協議経緯

五島ふくえ漁協、五島漁協、奈留町漁協との協議を令和4年より実施した。そのなかで、日々の操業場所の情報は漁協も把握しておらず、具体的な漁場の情報を漁業者個人から得ることは難しいとのご意見をいただいた。

これらを考慮しつつ、複数回の協議を経て、**試験操業、漁業者ヒアリング、-1データの収集整理（各種統計）、-2データの収集整理（漁協提供）**を行うことで、令和5年5月に合意を得た。

漁業影響調査における有識者

漁業影響調査の方法について、有識者として意見や助言をいただいた。

所属	氏名
長崎大学 水産・環境科学総合研究科	教授 松下吉樹
長崎大学 水産・環境科学総合研究科	教授 山口敦子

主な意見

- ・ 長期的な調査及びデータ収集が必要であり、そのための仕組みを確立いただきたい。
- ・ 自然環境の変化と、風車建設の影響をどのように峻別するかが課題である。
- ・ 特定の魚種が風車に蝟集したことをもって、好影響とすることには注意が必要である。
- ・ 将来的には対象魚種を増やすことも念頭において頂きたい。
→引き続き、意見を頂きながら調査手法等を検討する。

環境配慮事項への対応状況

2) 漁業影響調査の方法

試験操業

試験操業は下記の表のとおり、はえ縄及び一本釣りを対象とする。年2回（春季・秋季）行い、五島ふくえ漁協及び五島漁協より1回あたり4隻（2漁法×2漁協）のご協力を得て実施する。

漁法	選定理由
はえ縄	事業地及びその周辺がはえ縄によるアカムツ、イトヨリ等の漁場であるため
一本釣り	浮体への蛸集する魚類を対象とする漁法の代表として

1 1月上旬に2023年度秋季試験操業を実施した。カサゴやキダイ等が漁獲されている。引き続き、運転開始前後で漁獲状況に変化がないか調査を実施する。

漁業者ヒアリング

毎年1回、漁場や魚種、漁獲量等の変化等についてヒアリングする。ヒアリング対象は五島ふくえ漁協、五島漁協、奈留町漁協、長崎県旋網漁協の各漁協とし、必要に応じて水揚げデータ集計区分の各支所を加える。

-1 データの収集整理（各種統計）

港勢調査等や国による水産資源評価等、公開される水産統計データを収集整理する。

環境配慮事項への対応状況

-2 データの収集整理（漁協提供）

各漁協で運用管理しているデータベースを基に、港勢調査で公開される統計データではわからない支所別、魚種別の水揚げデータを各組合のご協力を基に整理する。

A. 定置網を除く漁獲量

	五島ふくえ漁協	五島漁協	奈留町漁協
集計区分	本所、崎山支所、大浜支所	丸福支所	事業地周辺での水揚げを集計
対象魚種	アカムツ、イトヨリ：事業海域が漁場 タチウオ、マダイ、イサキ：蛸集が想定される代表魚種		アジ、サバ、イワシ
調査項目	水揚げ量（kg）・水揚げ日数		
集計期間	1月1日～12月31日		

B. 定置網

	五島ふくえ漁協	五島漁協
集計区分	崎山支所、大浜支所	富江支所
対象魚種	タチウオ、マダイ、イサキ：蛸集が想定される代表魚種 ブリ、マグロ類、カツオ：回遊魚の代表魚種	
調査項目	水揚げ量（kg）・水揚げ日数	
集計期間	1月1日～12月31日	

環境配慮事項への対応状況

(3) 工事中調査について

1) 騒音調査

至近の住宅前の騒音レベルは、いずれも、作業前後と作業中に大きな差は確認されなかった。

調査日	工事場所	工事内容	工事中の騒音レベル ²	工事前後の騒音レベル
2022.12.20	椋島	風車組立	50.4 ~ 51.8 dB	39.4 ~ 54.7dB
2023.1.30	福江港	ガウジング ¹	48.9 ~ 54.2 dB	48.1 ~ 53.5dB
2023.11.14	福江港	浮体部の台船積込	53.2 ~ 55.0 dB	50.7 ~ 56.8dB

¹ガウジング：鋼製支柱溶接部のバリ取り

²工事中の騒音レベルは、環境基準において福江港直近の住宅地が指定されているB類型(55dB以下)を満足していた。

2) 水質濁水調査

係留アンカー設置前後で水質状況に変化がないことをROVによるリアルタイム映像にて目視確認しながら施工を実施。

3) その他(ヒアリング)調査

漁業組合との打合わせ時や地元説明会などにおいて、漁業関係者と接する際は、工事中の周辺様子について随時ヒアリングを実施している。現段階でトラブルは報告されていない。



(係留アンカー設置時に周辺環境を映像監視)